Title	大津由紀雄略歴・ 主要研究業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2013
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学： 人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.75 (2013.) ,p.214- 217
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	2012年度定年退職者略歴・ 著作目録一覧
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000075-0214

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

- (5) 大山 正・今井省吾・和氣典二(編) 新編 感覚・知覚心理学ハンドブック。「全体野から形の知覚へ」, 「図と地」, 「図の群化」, 「多義図形」, 「形の不変性」の各章を担当. 誠信書房, 1995.
- (6) 中島義明(編) 心理学辞典 「形の恒常」, 「眼灰」, 「ニト」, ほかの各項目を担当. 有斐閣, 1998.
- (7) 野口薫(編) 美と感性の心理学—ゲシュタルト知覚の新しい地平— 「ゲシュタルト知覚の実験現象学的アプローチ」. 富山房インターナショナル, 2007.

(翻訳)

- (1) H.ヘルソン(著) 創造性について考える. 国際交通安全学会誌, 1976, Vol. 2, 39-43.
- (2) G.カニツア(著) 野口 薫(監訳) 視覚の文法—知覚の体制化における規則性の役割. 「明るさの対比」, 「知覚される面の縮小と拡大」の各章を担当. サイエンス社, 1985.

(その他)

- (1) 野口薫・増田直衛(共著) ふしぎな本 さっかく. 講談社カラー科学大図鑑D-2, 1980.
- (2) Topics アニメーションの心理学(横田正夫と共著). 心理学ワールド, 2002, 19号, 21.

おおつ ゆ き お
大津由紀雄

略歴・主要研究業績

[学歴]

- 1963年3月 立教中学校卒業
 1966年3月 立教高等学校卒業
 1966年4月 立教大学経済学部経済学科入学
 1970年3月 立教大学経済学部経済学科卒業
 1970年4月 東京教育大学文学部文学科英語学英文学専攻学士編入
 1972年3月 東京教育大学文学部文学科英語学英文学専攻卒業
 1972年4月 東京教育大学文学部聴講生(1973年3月まで)
 1973年4月 東京教育大学大学院文学研究科修士課程英文学専攻入学
 1975年3月 東京教育大学大学院文学研究科修士課程英文学専攻修了
 1977年9月 米国マサチューセッツ工科大学(MIT)大学院
 言語学・哲学研究科博士課程入学
 1981年6月 米国マサチューセッツ工科大学(MIT)大学院
 言語学・哲学研究科博士課程修了, Ph.D.取得

[職歴]

- 1975年4月 和光大学人文学部文学科専任講師
 1980年3月 和光大学退職
 1981年6月 東京学芸大学教育学部助教授
 1987年3月 東京学芸大学退職

- 1987年4月 慶應義塾大学言語文化研究所助教授
 1991年9月 Visiting Associate Professor, Department of East Asian Languages and Literatures, Harvard University (1992年1月まで)
 1994年4月 慶應義塾大学言語文化研究所教授
 1995年4月 慶應義塾大学大学院社会学研究科(教育学専攻)委員
 2009年4月 筑波大学客員教授(2012年3月まで)

これまでに就いた主な学外役職:

- 日本学術会議連携会員
 文部科学省言語力育成協力者会議委員
 大学設置審議会専門委員
 日本認知科学会会長
 言語科学会会長
 日本英語学会副会長
 日本言語学会評議員
 東京言語研究所運営委員長
 日本学術振興会科学研究費補助金審査委員(第1段, 第2段)
 九州大学大学院人文科学研究院外部評価委員
 オーストラリア認知科学研究グループ評価委員
 アメリカ国立科学財団(National Science Foundation)助成金審査委員

[業績]

(主な著書)

- 『学習英文法を見直したい』, 共著, 2012年7月, 研究社, 柳瀬陽介, 斎藤兆史, 江利川春雄ほか
Future Trends in the Biology of Language, 共著, 2012年4月, Keio University Press, Shiro Ojima, Shigeru Watanabe et al.
 『佐藤学 内田伸子 大津由紀雄が語る ことばの学び, 英語の学び』, 共著, 2011年11月, ラボ教育センター, 佐藤学, 内田伸子
Handbook of Generative Approaches to Language Acquisition, 共著, 2011年8月, Springer, Jill de Villers, Koji Sugisaki et al.
 『ことばワークショップ---言語を再発見する』, 共著, 2011年6月, 開拓社, 西山佑司, 池上嘉彦, 窪蘭晴夫
 『言語政策を問う!』, 共著, 2010年11月, ひつじ書房, 田尻英三, 西原鈴子, 吉田研作ほか
 『国際会議の開きかた』, 共著, 2010年10月, ひつじ書房, 大津由紀雄研究室
 『はじめて学ぶ言語学—ことばの世界を探る17章』, 共著, 2009年10月, ミネルヴァ書房, 西山佑司, 池内正幸, 寺尾康ほか
 『危機に立つ日本の英語教育』, 共著, 2009年7月, 慶應義塾大学出版会, 福田浩子, 菅正隆, 江利川春雄ほか

- 『ことばの力を育む』, 共著, 2008年4月, 慶應義塾大学出版会, 窪菌晴夫
- 『ことばの「学び」の未来へ—これからの英語教育』, 共著, 2009年3月, 北九州市立大学基盤教育センター, 直山木綿子, 漆原朗子
- 『ことばに魅せられて 対話篇』, 単著, 2008年5月, ひつじ書房
- 『英語学習7つの誤解』, 単著, 2007年8月, NHK出版
- 『認知科学への招待2—心の研究の多様性を探る』, 共著, 2006年11月, 研究社, 波多野誼余夫, 三宅なほみほか
- 『日本の英語教育に必要なこと—小学校英語と英語教育政策』, 共著, 2006年6月, 慶應義塾大学出版会, 柳瀬陽介, 鳥飼玖美子, 市川力ほか
- 『小学校での英語教育は必要ない!』, 共著, 2005年5月, 慶應義塾大学出版会, 内田伸子, 今井むつみ, 斎藤兆史ほか
- 『認知科学への招待—心の研究のおもしろさに迫る』, 共著, 2004年11月, 研究社, 波多野誼余夫, 三宅なほみ, 今西典子ほか
- 『英文法の疑問—恥ずかしくてずっと聞けなかったこと』, 単著, 2004年9月, NHK出版
- 『小学校での英語教育は必要か』, 共著, 2004年7月, 慶應義塾大学出版会, 松川禮子, 三森ゆりか, 唐須教光ほか
- 『探検! ことばの世界』, 単著, 2004年2月, ひつじ書房
- Handbook of Japanese Linguistics*, 共著, 2002年6月, Blackwell, Natsuko Tsujimura, Shosuke Hara-guchi *et al.*
- 『小学校でなぜ英語?—学校英語教育を考える』, 共著, 2002年3月, 岩波書店, 鳥飼玖美子
- 『言語の獲得と喪失 (言語の科学10)』, 共著, 1999年2月, 岩波書店, 橋田浩一, 今西典子, ヨセフ・グロジンスキーほか
- 『ことばのからくり (全4冊)』, 単著, 1996年10月, 岩波書店
- 『言語 (認知心理学3)』, 共著, 1995年12月, 東京大学出版会, 西垣内泰介, 高野陽太郎, 高橋眞理ほか
- 『言語 (岩波講座 認知科学7)』, 共著, 1995年3月, 岩波書店, 橋田浩一, 杉下守弘, 田窪行則
- Syntactic Theory and First Language Acquisition: Cross-Linguistic Perspective*, 共著, 1994年12月, Lawrence Erlbaum Associates, Barbara Lust, Margarita Suárez *et al.*
- Synchronic and Diachronic Approaches to Language*, 共著, 1994年8月, Liber Press, S. Chiba, M. Ike-uchi *et al.*
- Language Acquisition Studies in Generative Grammar*, 共著, 1994年1月, John Benjamins, T. Hoekstra, B.D. Schwartz *et al.*
- 『英語学の関連分野 (英語学大系6)』, 共著, 1989年7月, 大修館書店, 柴谷方良, 津田葵
- 『ことばからみた心—生成文法と認知科学』, 共著, 1987年8月, 東京大学出版会, 千葉修司, 今西典子, 川崎典子, 波多野誼余夫ほか

(主な論文・論考)

- 『「ことばへの気づき」を利用して英語教育を言語教育として再構築する』, 単著, 2012年2月, *Journal*

of Medical English Education 11, 20-22.

「文法ができるまで」, 単著, 2011年12月, *Brain Medical* 12月号, 367-374.

伊藤 美奈子 略歴・主要研究業績

[学歴]

1980年4月 京都大学文学部入学
 1984年3月 京都大学文学部国文学科卒業
 1988年4月 大阪教育大学大学院教育学研究科（学校教育学専攻）修士課程入学
 （1988年4月～1990年3月 東大谷高等学校教諭在職中）
 1990年3月 同 上 修了
 1990年4月 京都大学大学院教育学研究科（臨床教育学専攻）修士課程入学
 1992年3月 同 上 修了
 1992年4月 京都大学大学院教育学研究科（臨床教育学専攻）博士課程入学
 1995年3月 同 上 課程学修認定（所定の単位を修得）
 1996年5月 同 上 課程博士（教育学）取得

[職歴]

1984年4月 私立東大谷高等学校 教諭（国語科）（1990年3月まで）
 1993年4月 日本学術振興会特別研究員 DC-2
 1995年4月 南山大学文学部教育学科専任講師
 1997年4月 お茶の水女子大学生生活科学部助教授
 1998年4月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科助教授
 2003年4月 慶應義塾大学教職課程センター助教授
 2006年4月 同 上 教授（現在に至る）

[賞罰]

平成11年度日本カウンセリング学会特別賞受賞

社会学研究科委員

2009年4月～2011年3月 大学院入試委員会委員（補佐）
 2011年9月～2013年3月 大学院奨学委員会委員

[業績]

(単 著)

- 1 1997・3 「個人志向性・社会志向性から見た人格形成に関する研究」 北大路書房.
- 2 2000・18 「思春期の心さがしと学びの現場」 北樹出版.
- 3 2002・6 「スクールカウンセラーの仕事」 岩波書店.